O校則改定

代表生徒による校則検討委員会を中心に協議を重ね、令和5年度から校則が改訂されました。LGBTQなど人権への配慮や、「中学生らしさ」を生徒自らが考えたもので、「校則が楽になった・・・ではなく、生徒自らが考えるもの」に変わっています。毎年検討を重ね、生徒自らの力で矢掛中学校を創造していきます。

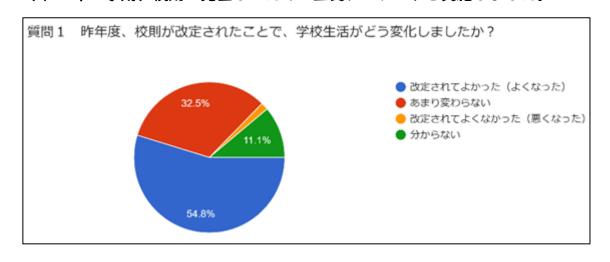
(校則検討委員会による生徒へのプレゼン 令和4年3学期)

5 おわりに

- ・校則とは:「学校が教育目的を達成するために、 合理的な範囲内において定めるもの」
- ・「選択の自由」「人権」などの視点で 問題がないかチェックする必要がある
- ★「校則が自由になった!」「ゆるくなった!」
- ○「各々の判断や責任が求められるようになった」

一人一人の主体性でよりよい矢掛中学校へ

令和5年1学期、校則の見直しのための生徒アンケートを実施しました。



〇令和5年度の取組

・生徒会役員が、メッセージを出しました。

目的:「校則改定のねらい」を再確認し、「主体性の向上」や「責任ある判断」 について生徒一人一人が考え、よりよい矢掛中学校にしたい

動画で放映されたメッセージの抜粋

「主体性の向上」 「責任ある判断」 楽しい学校の実現を

~校則改定から半年、現状とこれから~

校則改定のねらい

ルールを少なくする 選択できるものを増やす



- 生徒自身の自律
- ・自ら考えて行動できる生徒



全校生徒で楽しい学校生活を 送っていきましょう!!

- ・校則検討委員会では、生徒アンケートをもとに協議を進めました。 令和5年度の検討課題として、「タブレットの利用に関する校内ルール」 「ポロシャツの導入」の2点について協議しました。
 - (I)「タブレット利用に関する校内ルール」 禁止のルールがほとんどだったので、「デジタルシチズンシップ」の観点で見直しました。
 - (2) 今後、PTA と一緒に協議して導入について考えることにしました。

〇令和6年度の取組

令和6年6月17日から、ポロシャツの着用ができるようになりました。 生徒、保護者、学校の3者の協議により、ポロシャツ導入が実現しました。